

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
キャリア教育 Career Education		情報メディア学科 (一般学生対象)	1年次 2年次	1年次後期 2年次前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	柴田 道信	
概要				
<p>「大学で学ぶこと」と「社会で働くこと」の意義や関連性を考えて、学生自ら将来の人生設計を行うことができるように、生涯にわたる多様なキャリア形成に必要な能力や態度を育成する。また、社会人として必要な社会保障制度や労働者の権利・義務についての知識を身に付ける。2年次前期は、特に就職活動と関連付けた授業を行う。</p>				
到達目標				
<p>(1) これまでの人生の歩みから自己の特徴を分析し、自らの言葉で語るができる。</p> <p>(2) 職種研究をとおして様々な職種への理解を深め、志望職種を決定できる。</p> <p>(3) 企業研究をとおして様々な企業への理解を深め、志望企業を決定できる。</p> <p>(4) 社会保障制度や労働者の権利・義務の基本を説明できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
[1年次 後期]		[2年次 前期]		
1 オリエンテーション 2 自分の将来 3 働くことの意味 4 社会のしくみと就職 5 自己分析(1) 大学 6 自己分析(2) 小・中・高校 7 自己分析(3) 長所や強み 8 様々な職種と職種研究 9 職種研究(1) 職種調査 10 職種研究(2) グループ討議 11 職種研究(3) 適職分析 12 履歴書の書き方 13 自己紹介書の書き方(1) 学生生活 14 自己紹介書の書き方(2) 性格、趣味 15 自己紹介書による面接		16 オリエンテーション 17 就職活動の方法 18 就職活動のマナーや規則、労働法 19 求人情報の見方 20 企業情報の収集と分析方法 21 企業研究の実践(1) 情報収集と分析 22 企業研究の実践(2) 資料作成 23 企業研究の実践(3) 発表 24 自己紹介書の作成 25 面接試験対策(1) 自己 26 筆記試験対策(2) 会社、その他 27 筆記試験対策(3) 模擬面接 28 働くルール(1) 課題選択 29 働くルール(2) 調査 30 働くルール(3) 発表		
テキストおよび 参 考 文 献	必要に応じてプリント配布			
メ ッ セ ー ジ な ど				

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) これまでの人生の歩みから、自己の特徴を分析し、自らの言葉で語るができる。	深い自己分析に基づき、自己を表す特徴を分かりやすく伝えることができる。	十分に自己分析できおり、自己の様々な特徴を語るができる。	最低限の自己分析はできおり、自己の特徴をいくつか語ることができる。	自己分析が不十分であり、自己の特徴を言語化できていない。	提出物・面接 (思考力・判断力・表現力)	40%
(2) 職種研究をとおして様々な職種への理解を深め、志望職種を決定できる。	職種研究と自己分析の結果を総合的に判断し、志望職種を決定できる。	職種研究を進め、いくつかの候補から志望職種を最終的に決定できる。	職種研究を行い、いくつかの職種に興味を持つことができる。	職種研究が不十分で、志望職種の決定にいたらない。	提出物・面接 (思考力・判断力・表現力)	25%
(3) 企業研究をとおして様々な企業への理解を深め、志望企業を決定できる。	企業研究と自己分析の結果を総合的に判断し、志望企業を決定できる。	企業研究を進め、いくつかの候補から志望企業を最終的に決定できる。	企業研究を行い、いくつかの企業に興味を持つことができる。	企業研究が不十分で、志望職種の決定にいたらない。	提出物・発表・面接 (思考力・判断力・表現力)	25%
(4) 社会保障制度や労働者の権利・義務の基本を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	発表 (知識・理解・思考力・判断力・表現力)	10%